

企画経営室

1. スタッフ（平成28年4月1日現在）
室長（教授） 小池 創一（兼務）
事務 7名（内兼務4名）

2. 企画経営室の特徴

企画経営室は、病院執行部を補佐するための病院運営組織として、病院の管理運営に係る情報収集及び分析、情報の分析結果に基づいた企画及び経営支援、病院経営に係る改善又は検討事項の処理、病院統計及び臨床指標の作成、医療機器の適正使用に係る検証などを行っている。

3. 実績

①財務分析

病院経営の現状について、診療報酬請求額（稼働額）、収入額及び医薬材料費支出の予算に対する目標達成度を作成し、収支の動向を迅速に把握、分析をするとともに、毎月、病院執行部会議及び診療代表者会議で報告を行った。

②診療科別診療実績の配付

診療代表者会議や各診療運営部における病院統計等の報告に加えて、各診療科において診療実績を振り返り、診療科主体の運営と経営改善の一助となるよう四半期ごとに実績を可視化し、過去との比較がしやすい形式でデータの配付を行った。

③データに基づく診療科機能の可視化

診療科の繁忙度等の活動状況について客観的に評価を行う体制を整備するため、診療科機能評価の具体的な方法について検討する「データに基づく診療科機能の可視化ワーキンググループ」を中心に、診療科機能の評価指標案の作成、評価データの収集における技術的・コスト的な課題の整理について検討を行った。

今年は、前年度の試行事業の評価結果を踏まえて指標項目及び評価方法の見直しを行った。評価結果については、当該診療科に周知し、科特有の事情など指標でカバーできない部分は補足事項として定量的データ等を収集することとした。

④医薬材料費タスクフォース

医療収入に占める医薬材料費率の上昇により収益性が悪化していることから、原因分析と迅速な現状把握システムの構築、医薬材料費の適切な管理に向け医薬材料費タスクフォースが設置され、診療科ヒアリングや情報シ

ステムデータを利用した分析等を行った。

⑤病棟ヒアリング

病床の有効利用の検討において、各病棟における優れた取り組みや病棟運営上の課題等を把握するため、前年、副病院長及び病院長補佐による各病棟医長及び看護師長に対するヒアリングを行った。

抽出された課題や提案、要望等について、該当部署に周知するとともに、解決策の立案の支援、検討状況の進捗管理を行った。

⑥各診療運営部及び関連委員会との連携

病院運営組織における課題の抽出及びその解決の方策についての検討等のため、入院、外来、中央施設の各診療運営部と連携し円滑な病院運営に注力した。

自治医科大学附属病院将来計画検討委員会や医事支援会議、看護システム支援委員会などの関連委員会に参加し、立案の支援等を行った。

4. 事業計画・来年の目標等

病院の管理運営に係る情報収集及び分析を推進するとともに運営組織間の連携を図り、円滑な病院運営を支援する。

データに基づく診療機能の可視化事業は、継続的な評価の実績を重ね、条件の変化や評価技術の開発、進展などに応じて適切な評価指標の作成及び評価の方法を検討する。

医薬材料費タスクフォースの提言を受けて、迅速かつ正確な経営状況の把握を行い、各種情報システムデータや既存分析ツールを活用するなど分析体制の構築、適正な医薬材料比率の設定や月次変動を考慮した予算計画の策定を検討する。